



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



今日は「月食」。天体ショー！
- Change (変革), Challenge (挑戦), Continue (継続) -

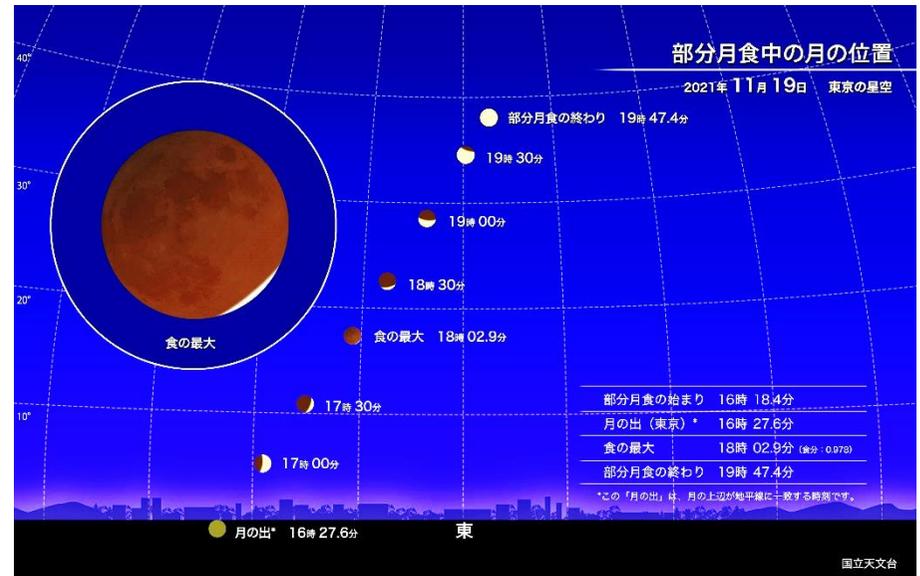
今日は、「月食」が見られます。天気予報によると西日本は天気がよく、観測できる可能性が高いそうです。

国立天文台によると、

11月19日の夕方から宵にかけて、全国で部分月食が見られます。月食は、月が地球の影に入ることによって起こります。地球の影（本影）によって全て隠される「皆既月食」と、一部が隠される「部分月食」があります。今回は部分月食ですが、月の大部分が影の中に入り込みます。**部分月食の始まりは、16時18.4分**です。ただし、北海道や東北地方北部を除く地域では、月食の始まりは月が地平線の下にあって見られず、月が欠けた状態で空に昇ってくる月出帯食（げつしゅつたいしょく）となります。今回の月食は、とくに前半で月の高度が低いので、東の空が開けた場所で観察しましょう。月が最も欠けて見える、**食の最大は18時02.9分**です。皆既月食の場合には、完全に影の中に入った月が赤黒い色（赤銅色とも呼ばれる）になって見えることが多いのですが、一方で、多くの部分月食では影の部分の色は暗いだけではっきりしません。ただ今回の部分月食では月の大部分が影に入りますので、食の最大の頃には影の部分が色づいて見えるかもしれません。月はその後、空を昇りながら地球の影から出ていきます。19時47.4分には月が影から離れ、部分月食が終わります。

また、月が地球の影の中に入り込む程度（影で覆われる月の直径の割合）を「食分」という数値で表します。その値が大きいほど影の中に月が深く入り込み、1.0以上で皆既月食となります。今回の月食の最大食分は0.978で、これは月の直径の97.8パーセントまで影に入り込むことを意味

し、部分月食としてはたいへん大きな値です。食分の値が大きいことをしばしば「深い」と表現し、今回のような月食は「たいへん深い部分月食」と言います。
とのことです。



今日は、天体ショーが見られると思います。秋の夜長、月食を楽しむのもいいかもしれませんね。来週は、祝日（勤労感謝の日）が一日、**おの検定（25日）、中番フェスティバル（26日）**と忙しい週になります。「おの検定」に向け、子供達への保護者の皆様のあたたかいご支援とご協力、言葉掛けをよろしくお願い申し上げます。また、児童の体調管理について今一度、ご留意いただきますよう重ねてよろしくお願い申し上げます。